

最上の子どもたちのために

未来へ紡ぐ

- ◆ 最上教育事務所指導課通信
- ◆ 令和8年3月10日
- ◆ 最上教育事務所指導課
- ◆ 第 12 号

第2回最上地区中学校生徒会サミット 令和8年1月26日(月)

令和7年度第2回最上地区中学校生徒会サミットが、オンライン（Microsoft Teams）で開催されました。今回のサミットのテーマは、「生徒同士が絆を深め、安心して生活や学習ができる学校づくり」です。当日は、各校が進めている取組や、これから計画していく活動に関する悩みなどについて、活発な意見交流が行われました。生徒同士が互いの経験や思いを共有し、よりよい学校を自分たちの手でつくっていかこうとする姿が、多くの場面で見られました。参加した生徒からは、「他校にも同じ思いで活動している仲間がいることが励みになった」「新しい生徒会として、生徒自身が主体となった自治的な組織づくりや学校づくりを、さらに充実させていきたい」といった感想が寄せられました。



校長先生方からの講評

学校ごとの規模や課題の違いを踏まえつつ、互いの悩みや取組を語り合う貴重な機会となりました。他校を参考にしながら、自分たちの学校ではどんな活動ができるのかを改めて考えてほしいと思います。生徒会の皆さんには、日頃から生徒が何を考え、どうすればより良い学校生活になるのかを意識し、失敗を恐れず挑戦し続ける姿を期待しています。今後の活動にも今日の学びを生かしてほしいと思います。（舟形中 梅津保裕校長）

生徒会の皆さんが抱える悩みと、学校の先生方が抱える悩みは、実は大きく変わらず、どちらもよりよい学校をつくりたい思いから生まれています。計画・実行・振り返り・改善のPDCAを意識しながら活動を進めることで、挑戦したいことを実現できるはずで、各校の取組や新たな挑戦を聞くことができ、とても貴重な機会になりました。ぜひ今日の気づきを今後の生徒会活動につなげてほしいと思います。（新庄中 近内孝哉校長）

確かな学力育成支援（M-T-E-P）A：若手育成型

日時	学校名	氏名	支援の内容	主体的に学ぶ研修者の様子
1月29日	日新小学校	高橋 音々 教諭 井上 星 教諭 田中 李奈 教諭 姉崎 叶恵 教諭 八鍬 芽依 教諭 井上 航汰 教諭 柿崎 裕太 教諭 井上 拓郎 助教諭	年間を通じた授業実践の振り返りと次年度の実践に向けて（部会ごと） ○1年国語、6年国語 ○2年音楽、4年外国語活動 ○3年理科、5年理科 ○5・6年自立活動、4年算数	前段の授業通覧では、研修者が児童の発言を丁寧に受け止め、学びがつながるようにコーディネートする姿が多く見られました。後段の部会別研修では、自身の授業実践を振り返りながら、次年度に向けてより具体的で実効性のあるワンアクションを設定し、互いに共有し合う姿が印象的でした。

※令和8年度もM-T-E-Pを行います。詳細については令和8年3月6日付通知を御確認ください。

「特別の教科 道徳」においては、「考え、議論する道徳」へと質的な転換が求められています。戸沢学園では、文部科学省委託事業「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」に取組、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進してきました。

研究テーマ「互いに理解し合い、よりよい人間関係を築くことのできる児童の育成～関わりの中で学ぶ、考え、議論する活動を通して～」のもと、1年間を通じて、道徳の授業づくり、地域との交流活動、外部講師を招聘した師範授業や人間関係づくりの研修会等を行ってきました。

1月30日（金）には、教育実践研究家 菊池 省三 氏による模擬授業や講演会を公開研究会として開催し、多くの先生方が道徳教育や学級づくりについて学ぶ機会を提供していただきました。菊池先生の温かな声掛け、子どもたちの声を受け止める姿勢、学びへ向かいたくなるしかけ等について、体感的・実践的に学ぶことができました。

また、戸沢学園では児童生徒同士が意図的に関われるよう、帰りの会で「ほめ言葉のシャワー」に継続して取り組んでいます。友だちの良い所を見つけようとする子ども達の目が育ち、子ども同士の関係にもよい変化が見られるようです。



★山形県における過去の取組はこちら！★

山形県ホームページ「道徳教育地域支援事業における取組」

今後、戸沢学園の実践も掲載予定です。

<https://www.pref.yamagata.jp/700012/jinkendoutoku/doutokukyoku.html>



令和7年度青少年指導・エリアスクールソーシャルワーカー学校訪問から

学校が抱える生徒指導上の諸課題の解消や、問題行動等の未然防止に向けて、2月末現在で、小学校等10校、中学校等10校を訪問させていただきました。いずれの学校においても、当地区の喫緊の課題である SNS に係る問題や、いじめ・不登校の未然防止に真摯に取り組んでおられる様子を拝見し、その熱意に敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。今後も可能な限り、各校の御希望に沿った支援ができるよう努めてまいります。次年度の訪問希望につきましても、引き続き御検討くださいますようお願い申し上げます。なお、次年度の募集について、4月以降に通知を出しますので、そちらを御確認ください。



○青少年指導・エリアスクールソーシャルワーカー訪問校の感想

- ・相手が嫌な気持ちになる言葉は、対面だけでなく SNS やオンラインゲーム上でも使ってはいけないこと、いじめは悪口や陰口から始まることなどを、わかりやすく教えていただきました。日頃の何気ない言動を振り返るきっかけとなったようです。
- ・講話の中でアクティビティやグループでの話し合いが取り入れられ、「あなたならどうする？」と自分事として考える場面が設定されており、児童生徒がより深く考えることができました。
- ・講話資料に本校に関する内容や写真が盛り込まれていたことで、児童生徒が身近に感じ、より主体的にお話を聞くことができました。